

## 胸骨傍リンパ節転移の診断と治療

胸骨傍リンパ節は、乳腺から内方に向かう約 1/4 のリンパが流入する、乳腺の領域リンパ節です。かつては、胸骨傍リンパ節を含めた拡大郭清が行なわれていたことがありますが、臨床試験の結果、予防的拡大郭清の意義は否定されております。また、放射線照射については再発を低下させるものの、心臓死などの乳がん以外の死亡を増加させると考えられてきました。しかし、予防的放射線照射が生存率向上に寄与するという結果が得られてから、特に、進行若年乳がんに対する予防的照射が見直されてきております。

胸骨傍リンパ節転移の診断には、超音波・MRI・CT などが有用であり、確定診断は、超音波ガイド下穿刺吸引細胞診やセンチネルリンパ節生検が有用です。また、近年では PET も期待されています。